

令和7年度行政評価 施策評価シート (令和6年度実績)

施策名 男女共同参画の実現に向けた社会づくり

施策コード 5030204

1. 施策の担当	
主管課	市民協働部 人権推進課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第3章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり（自律・協働・多様性）	節	第2節 人権・多文化共生
	施策	男女共同参画の実現に向けた社会づくり		

基本方針	
政策及び方針決定をはじめ、あらゆる分野において、性別にかかわりなく人権が尊重され、男女それぞれの個性と能力を十分に発揮することができ、対等なパートナーとして参画できる社会の実現をめざします。	

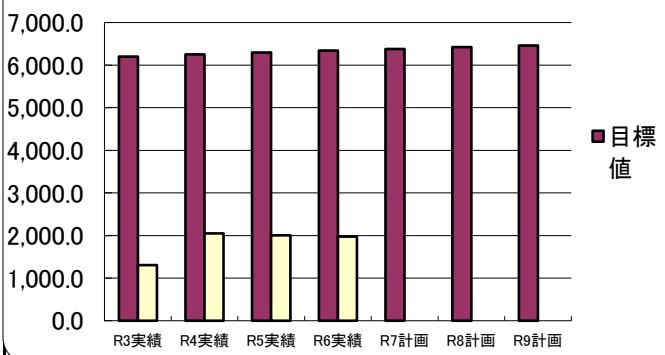
現況と課題	
● 第3次泉佐野市男女共同参画推進計画（第3次人ひとプラン）に基き、毎年、実施計画及び進捗状況の調査を行いながら、計画の推進に努めています。	
● 各種講座、セミナー等を開催していますが、市民ニーズの多様化や新しい課題への対応、また、男性受講者及び親子の増加に向けた企画が必要です。	
● 男女共同参画社会実現のための拠点施設として、いずみさの女性センターを開設し、市民に向けた取り組みを実施するとともに、自主グループの育成と活動に努めています。	
● 配偶者等からの暴力など様々な問題を抱える市民を支援していくよう、情報を提供するとともに相談事業の拡充に努めています。	
● 女性活躍推進法に基づき、職場の男女平等、企業や地域団体等での女性の参画、政策方針決定への女性の参画、管理職への女性の登用などについての啓発、促進、環境整備などが必要です。	
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民及び社会	
意図（どのような状態にしたいのか）	
性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現。	

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	44.6	44.6					
重要度（偏差値）	39.4	39.4					

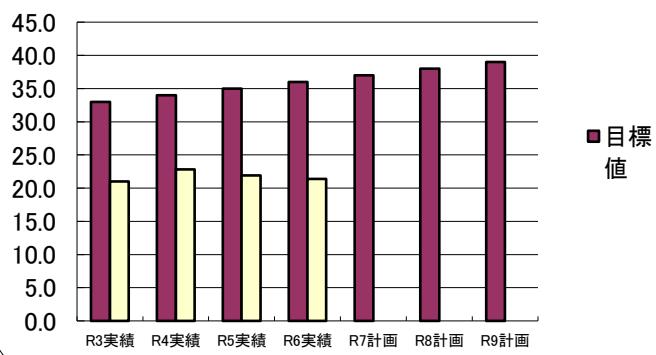
4. 施策にかかるコスト							
	単位	R5決算	R6決算				
コストの内訳	千円	17,659	18,160				
		2,659	2,762				
		20,318	20,922				
財源内訳	千円	0	0				
		0	0				
		0	0				
		0	0				
		20,318	20,922				
		2,659	2,762				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		いずみさの泉佐野女性センターの利用者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	6,200.0	6,250.0	6,300.0	6,340.0	6,380.0	6,420.0	6,460.0
実績値	1,308.0	2,049.0	2,004.0	1,973.0			
達成度	21.1	32.78	31.81	31.12			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
男女共同参画社会づくりの拠点施設である”いずみさの女性センター”の利用者数は、男女共同参画社会の市民理解力啓発の指標の一つとなる。		令和5年度までの目標値については、毎年50人ずつ増加させることを目標とし、それ以降、令和10年度までの目標値については、毎年40人ずつ増加させることを目標とした。		R3年度より女性センターが委託業務となり、センター内が無人状態化したために利用者は減少している。センターの利用者には、研修の受講者を含めており、R4年度まで依頼のあった講演依頼（団体）がなかったため、減少傾向にある。また、利用者の増加を見込むために、魅力ある主催講座を企画し人数を増やして、啓発につなげていきたい。			
② KPI 2		施策及び方針決定の場への女性参画率					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値	21.0	22.8	21.9	21.4			
達成度	63.64	67.06	62.57	59.44			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
女性の参画率により、その分野での男女共同参画社会に向けた社会環境づくりの推進度が解ります。		毎年1%ずつ増加させることを目標とした。		審議会等に関心の高い女性の任用に努めており、女性が参加しやすい社会の体制も徐々に整備されており、男女の意識変化も時代と共に変化している。審議会等委員は、以前はあて職での登用も多く、各種団体等は会長に女性が少なかつたが、少しずつ増加傾向だったが今年度は減少した。庁内での審議会については、いずみさの女性センターネットワークからの紹介を周知していきたい。			
③ KPI 3		男女共同参画社会啓発事業（講座・イベントなど）参加者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	2,300.0	2,400.0	2,500.0	2,600.0	2,700.0	2,800.0	2,900.0
実績値	1,721.0	1,521.0	916.0	822.0			
達成度	74.83	63.38	36.64	31.62			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
男女共同参画社会を推進する上で、市民協働型での事業実施と市民ニーズの掘起こしが重要であるため、市民と協働で実施した講座・イベントの参加者数を指標とした。		毎年100人ずつ増加させることを目標とした。		講演依頼（団体）がなかったため、イベント参加者が昨年に比べて減少となった。			
④ KPI 4		女性のための相談件数（面接・電話）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	220.0	225.0	230.0	234.0	238.0	242.0	246.0
実績値	167.0	187.0	199.0	216.0			
達成度	75.91	83.11	86.52	92.31			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
男女共同参画社会づくりの拠点施設である”いずみさの女性センター”の利用者数は、男女共同参画社会の市民理解力啓発の指標の一つとなり得る。		令和5年度までは毎年5人ずつ、それ以降、令和10年度までは毎年4人ずつ増加させることを目標とした。		前年度より面接相談、電話相談ともに全体的件数は増加した。いずれもリピーターが増加している。これは、電話相談、面接相談に対する認知度や信頼度が向上したものと考えられ、今後も広く周知していきたい。			
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			

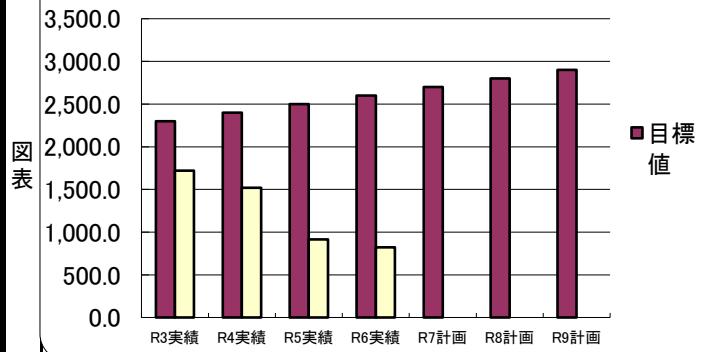
KPI①



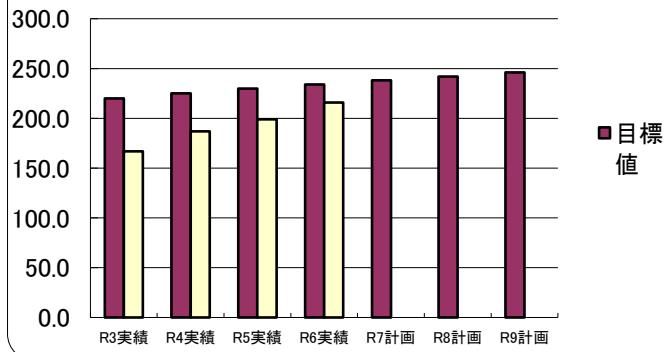
KPI②



KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

判定項目		評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	条例や規則に定めた審議会や委員会のみならず、市主催の実行委員会や協議会等への女性の参画率の推移について、周辺市や府ではデータは公表されていないので、当市における参画率のデータの希少性と有効性は今後も重要と思われる。また、講座・イベントについては、協力団体に要請し、啓発の推進に努める。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	政治・経済・防災・地域活動等のあらゆる分野において、女性の参画の拡大は当市においても喫緊の課題であり、数値目標を掲げて実行していくことが、市民ニーズにも表れになると考える。 H30市民アンケート満足度（偏差値）は47.4となり、H24調査時の52.9に比べ低下した。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 1	国の第5次男女共同参画基本計画及びDV防止法、府の男女共同参画推進条例、おおさか男女共同参画プラン、それらの法令等に掲げられている従来型の女性のためだけの共同参画ではなく、男性や子どもにとっての男女共同参画の新たな展開が社会潮流となってきたている。
	合計点	(10点中) 3点	
	総合評価	D	引き続き男女共同参画社会基本法及び第3次泉佐野市男女共同参画推進計画に基づき各種目標値の達成に努める。特に、審議会等への女性の参画率向上のため、委員に推薦できる女性人材の確保並びに審議会等の担当課への働きかけを強化する。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		D	満足度・重要度ともに低い水準であり、一部のKPIも伸び悩んでいるように見受けられる。打開できるようなアイデア作りに努められたい。
三次評価（理事者による評価）			

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01007200	男女共同参画政策推進事業	4,612	244	244	0	B
2	01007250	男女共同参画サポート事業	13,548	2,518	2,518	0	B
合計			18,160	2,762	2,762	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	010202010	予算コード	01007200	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	男女共同参画政策推進事業	正規職員数	0.5	国庫支出金	0	有効性	B	男女共同参画社会の実現に向けた様々な課題の解決には至っていない。また女性活躍推進法の施行を受け、女性の活躍を後押しする取組が求められる。令和3年度までの10年間は「第2次いづみさの男女共同参画行動計画」に基づき取組を進めてきた。令和4年度は「第3泉佐野市男女共同参画推進計画(人ひとプラン)」が策定され、今後10年間の計画が開始されるため各種指標(数値目標)を確実に達成できるよう一歩進んだ推進が求められる。		
担当課	人権推進課	嘱託職員数	0	府支出金	0					
		臨時職員数	0.3	市債	0	効率性	B			
		歳出(千円)		その他	0					
根拠法令等	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領	人件費総額	4,612	一般財源	4,856	妥当性	B			
	男女共同参画社会基本法、DV防止法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、児童虐待防止等に関する法律、大阪府配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画、泉佐野市男女共同参画まちづくり条例、いづみさの女性センター要綱、第3次泉佐野市男女共同参画推進計画、女性活躍推進法、泉佐野市部落差別撤廃とあらゆる差別をなくす条例、泉佐野市犯罪被害者等支援条例、泉佐野市バーナーシップ・フミリーシップの宣言の取扱いに関する要綱	減価償却費	0	事業費	244	受益者負担	該当なし			
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	4,856	緊急性	B	事務事業実施内容				
実施手法	市直営	市民・人当りコスト(円)	49			進捗状況・実施計画調査。 啓発誌「Fine」の発行。				
対象		活動指標	R6実績	公的関与						
不特定の市民	対象数	進捗状況・実施計画調査	1.0	A						
全市民、市内事業所、各種関係機関等		啓発誌「Fine」発行	1.0	実施主体・委託化	A					
事業の内容	男女共同参画推進会議の開催	0.0								
男女共同参画社会の実現に向けた以下の事業を行っている。 ①第3次泉佐野市男女共同参画推進計画の推進 ②市人権対策本部男女共同参画部会事業への支援 ③男女共同参画情報誌「Fine」の発行 ④男女共同参画に関する情報収集及び発信										
事業の目的										
	男女共同参画社会の実現を目指し、「泉佐野市男女共同参画まちづくり条例」及び「第3次泉佐野市男女共同参画推進計画」に基づき必要な取組みを行う。	他の事務事業との関連	B							
		成果指標	R6実績	透明性	B					
		進捗状況・実施計画書	1.0							
		啓発誌「Fine」発行	2,100.0	財政健全化計画	該当なし					
		男女共同参画推進会議の開催(回)	0.0							
		財政健全化の取組	A							
		コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし					
		進捗状況・実施計画経費	299,100.0							
		「Fine」1冊あたりの作成経費	206.0							
		推進会議1回あたりの経費	0.0							

事務事業コード	010201010	予算コード	01007250	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	男女共同参画サポート事業	正規職員数	1.5	国庫支出金	0	有効性	B	啓発・相談事業は自治体の責務であり、取組みの継続が必要。相談についてには、内容の複雑化や緊急性に応じて他課・他機関との連携を強化する。啓発については就労者、男性、若者や子ども向けの啓発を強化する。		
担当課	人権推進課	嘱託職員数	0	府支出金	0					
		臨時職員数	0.7	市債	0	効率性	C			
		歳出(千円)		その他	0					
根拠法令等	■法律・政令・省令 ■条例・規則 ■要綱・要領	人件費総額	13,548	一般財源	16,066	妥当性	B			
	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)、泉佐野市男女共同参画まちづくり条例、いづみさの女性センター要綱、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、大阪府配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、女性活躍推進法、泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例、泉佐野市犯罪被害者等支援条例	減価償却費	0	事業費	2,518	受益者負担	C			
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	16,066	緊急性	A	事務事業実施内容				
実施手法	市民・NPOとの協議	市民・人当りコスト(円)	162			男女共同参画社会に向けての啓発事業の実施 男女共同参画リーダーとなる人材育成事業の実施 女性のための相談事業(面接・電話)実施 女性センター運営管理 いづみさの女性センターネットワークの運営				
対象		活動指標	R6実績	公的関与	B					
不特定の市民	対象数	面接・電話相談実施時間	163.0	実施主体・委託化	B					
全市民、市内事業所、各種関係機関等		講座・セミナー実施回数	14.0							
事業の内容	第3次泉佐野市男女共同参画推進計画を基にいづみさの女性センターにおいて以下の事業を行っている。	リーダー養成事業実施回数	20.0	他の事務事業との関連	B					
	①女性のための相談事業の実施 ②男女共同参画社会の実現に向けた啓発事業の実施(講座の実施及び街頭啓発) ③地域で男女共同参画社会づくりとなる人材の育成 ④男女共同参画社会づくりを推進する活動を行うグループの支援(いづみさの女性センターネットワーク、ゲストティーチャー、講師学習会、その他) ⑤人権研究集会・あいあい講座における企画、共催 ⑥男女共同参画をテーマにした交流事業の実施	登録グループ数	6.0							
		成果指標	R6実績	透明性	B					
		市民講師等派遣先受講者数	832.0							
		面接・電話相談延べ利用人数	216.0	財政健全化計画	該当なし					
		講座・セミナー延べ参加人数	251.0							
		講師・審議会委員等への延べ参画人数	65.0	財政健全化の取組	該当なし					
		登録グループ活動回数	61.0							
		コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし					
		延べ利用者1人当りの事業費	8,142.0							
事業の目的	「泉佐野市男女共同参画まちづくり条例」及び「第3次泉佐野市男女共同参画推進計画」に基づき、泉佐野市における男女共同参画社会の実現により女性と男性双方が暮らしやすいまちづくりをめざす。									